

ヒアリング評価を通じて得られた特に優れた事例 2

共食と食育、様々な学びを通じてこども達の生きる力を育む事業

【事業費総額 6,281 千円 (WAM助成金 5,200 千円)】



こどもたちによる京都大学への社会見学の様子



食育活動の一環として実施した夏のデーキャンプの様子

団体設立経緯

貧困の子育て家庭及び生きづらさを抱える不登校・ひきこもりのこどもを対象に「共食と食育、様々な学びを通じてこどもたちの生きる力を育む」ことを目的として令和2年に団体を設立しました。

教員や医療関係者、福祉従業者等を中心に事業を実施し、どのようなこどもであっても将来の夢を実現できる社会となることを目指しています。

事業実施内容

今回の事業では、様々な生きづらさを抱えるこどもたちが、自立して生きていくために必要な能力を身に着けることを目的として

- ①学習支援、STEAM教育などの教科横断的学習、食育、生活・仕事体験、社会・文化的体験を行う
- ②乳幼児から中高生までの子育て支援として、家庭教育支援チームによる保護者向け講座の開催と個別子育て相談を行う
- ③「今を支える」ためひとり親困窮家庭等に対し、食事や食料品を提供し肉体的発達を助けると共に共食の場を提供し良好な親子関係を築く

の3つの事業を実施しました。

また、学校でのいじめ、不登校・ひきこもり、学力遅延の相談に対応し、行政への情報提供等も行っています。

事業成果

対象者延べ7,780名に支援を提供し、38団体と連携を行う成果をあげられました。全参加者対象のアンケートにおいては、満足度4.8点(5点満点)と高評価で、ニーズに沿った質の高い支援を提供されています。

また、支援の輪はさらに広がりを見せ、複数企業から寄付金が見込まれている他、奈良県や大和郡山市との連携体制の構築がより一層進み、今後は、奈良県中北部のこども支援団体において中核的な役割を果たすことが期待されています。

同事業に対する評価

利用者の興味関心に応じて、プログラミングやデザインなど特徴的な事業を行っている点や、学生、教員、医療介護職、企業関係者など幅広い属性のボランティアが活躍する場を設けられています。本団体の実践により構築された理念と積み上げられたノウハウが他の同様の活動を行っている団体の「道しるべ」となり、より広範な成果普及につながる仕組みづくりに取り組まれた点についても非常に高く評価しています。

特定非営利活動法人

せいじゅんたすけあいこども食堂

(奈良県大和郡山市)

U R L

<https://www.seijyun.com/>

